



熊谷市立長井小学校

グランドデザイン 2017



■学校教育目標およびその具現化に向けた取組

《長井小：校訓》 **な**かよく **が**んばり **い**っしょにのびよう！

目指す学校像

子供たちも職員も、笑顔になれる、元気な学校

『3つのがい』

- ◎子供にとって、学びが、通いがいい学校
- ◎教職員にとって、働きが、やりがいの学校
- ◎保護者や地域の方の期待に応えられる、託しがいい学校



学校教育目標

確かな学力を身に付け、心豊かにたくましい長井っ子の育成

目指す児童像



○考える子
《 確かな学力 》 (知 育)

- ・よく聞き、進んで発言できる子
- ・粘り強く繰り返し学習ができる子
- ・自ら問い続け、考える力を伸ばす子

○明るい子
《 豊かな人間性 》 (徳 育)

- ・明るい笑顔で「あいさつ」できる子
- ・元気に返事ができる子
- ・誰にでも優しい子
- ・「ありがとう」、「ごめんなさい」が言える子

○たくましい子
《 健康と体力 》 (体 育)

- ・進んで体を動かす子
- ・進んで運動する子
- ・健康づくりに挑戦する子

重点目標と具体的な取組

- 児童が主体的に考え、対話を通して互いに高め合うことのできる授業実践
- 朝の英語学習・「くまびスクール」の推進
- ※すべての場で学力向上・定着策を展開します。

具体的な数値目標

- ◎全国学力学習状況調査・埼玉県学力学習状況調査 県平均以上達成
- ◎読書カード 平均30冊以上
- ◎自主学習 4冊以上
- ◎計算オリンピック 平均80点以上100%
- ◎良文・古典の暗唱 1人10典

- 個々のよさが生きる、楽しく温かな人間関係づくり
- いじめ解消率100%宣言
- 縦割り活動、小中一貫・連携教育の充実
- 道徳の「見える化」
- ※自分でよいと思ったことを、実践・表現できる児童を育てます。

具体的な数値目標

- ◎登校時のあいさつ 100%
- ◎出席率 99.0%
- ◎「4つの実践」「3減運動」自己評価(児童・保護者)平均(95%)

- 業前運動(持久走・なわとび)を通しての体力づくり
- 新体力テスト
- 給食後の歯磨き、フッ素洗口の実施
- ※体力向上の自己目標達成に向けた取組を活性化します。

具体的な数値目標

- ◎新体力テスト県平均以上の種目 80%
- ◎体力貯筋(ちよきん)毎日実践
- ◎朝食摂取率 100%
- ◎永久歯むし歯治療率95%

小・中一貫教育推進モデル事業
人権教育に基づく学校研究課

確かな学力を身に付け 心豊かに生きる児童生徒の育成

学校教育目標の具現化のために、調和力と交流力をパワーアップして具体策を展開します。(長井小スタンダード活用)

生徒指導の基本方針

◎是々非々で「すずめの学校」と「めだかの学校」とのバランスを大切にする。

- 1 誰にもわかる授業をし、確かな学力をつけます。(「わかった」「できた」「ほめられた」の体験)
- 2 徹底してかまってくれます。(児童全員が「自分は先生にかわいがられている」と思うように)
- 3 いざという時、全員で動きます。(「長井小学校」という組織への信頼を高める)
- 4 一秒でも早くプロの手へ渡します。(関係機関と連携する)



熊谷の子どもたちは、これができます！

4つの実践
3減運動

生きる力
学び・探求
心豊かに
思いましよう

家で約束を！

家庭・地域との連携

◎子供たち、保護者、地域との信頼関係を基盤にした教育活動を展開する。

- 1 家庭と連携した体力向上の取組
- 2 熊谷市の子どもたちは、これができます！
- 3 「4つの実践」と「3減運動」の推進
- 3 家庭と連携した健康教育の推進「いのちの授業」実践

熊谷教育の羅針盤

◎《幡羅高等小学校の家庭心得(明治31年)より》

教育の道は、家庭の教で芽を出し、学校の教で花が咲き、世間の教で実が成る。

・長井小の教育を、学校・家庭・地域の連携協力による同一歩調で推進します。

熊谷市 保護者のスマートフォン『4つの実践』

子供は、大人の言ったようにほやらない、大人が言ったようにやる。

これだけの実践は、

- 1 子供のスマホにアプリダウンロード
- 2 年長9時以降は使用しない
- 3 学年中や旅行中等の「その時」操作しない
- 4 他人を傷つける言葉や個人情報を書かない

大人が手本となって

熊谷市PTA連合会・長井小学校PTA